施設概要

（令和８年３月３１日現在）

施設名	開館時間
白井市公民センター	午前９時　～　午後９時

所在地	〒270-1406 白井市 中 ９８－１７	併設施設	図書室 児童ルーム 一般社団法人白井工業団地協議会 白井第二小学校区地区社会福祉協議会 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会
TEL	０４７－４９２－５２６６	FAX	０４７－４９２－５２６７
メール	info@shiroishi-koumin-center.com		
休館日	日曜日、国民の祝日、休日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	敷地内28台（身障者用1台分含）
職員構成 R７年４月現在	センター長 １名、事務職 １名 (非)事務職 ２名、(非)児童厚生員 １名、(非)夜間管理 2名、(非)清掃員 １名　　計７名		

貸出施設

１時間あたりの施設使用料（社会教育認定団体は２分の１）

施設名	定員	９：００～２１：００	付帯設備
会議室	30 名	430 円	長机13台・椅子37脚・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ・演台
相談室	10 名	310 円	机4台・椅子脚・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ
集会室	20 名	430 円	座卓15・座布団70・TVﾓﾆﾀｰ・茶道具
作法室	10 名	310 円	
集会室＋作法室	30 名	740 円	
調理実習室	20 名	700 円	テーブル4台・椅子24脚・調理用具1式　・ホワイトボード
視聴覚室	20 名	760 円	長机19・椅子21・児童椅子14・演台・音響設備・TVﾓﾆﾀｰ・ﾋﾞﾃﾞｵﾃﾞｯｷ・ｽｸﾘｰﾝ・ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ5・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ・ｱｯﾌﾟﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ
レクリエーションホール	150 名	1430 円	卓球台、ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ支柱･ﾈｯﾄ、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ支柱･ﾈｯﾄ、得点版、マット、ﾖｶﾞﾏｯﾄ、音響設備、演台、可動式舞台、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、長机、イス

＊営利目的使用の使用料は、上記金額の3倍。

その他施設	ラウンジ1階・2階
貸し出し可能備品	館内限定：TV・プロジェクター・DVDプレイヤー・延長コード・ＣＤラジカセ・可動式ホワイトボード

令和7年度　公民館等団体別利用状況
（公民センター）

種別	青少年		成人		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	4	131	55	492	25	738	4	14	88	1,375
5	4	96	44	380	23	487	2	6	73	969
6	4	79	37	325	56	2,949	2	4	99	3,357
7	5	155	51	662	43	851	0	0	99	1,668
8	5	101	42	392	19	442	9	43	75	978
9	2	29	51	434	24	426	4	15	81	904
10	5	98	54	522	27	459	3	31	89	1,110
11	3	97	39	364	37	1,473	1	3	80	1,937
12	4	95	43	403	25	2,072	0	0	72	2,570
1	0	0	45	434	29	543	5	29	79	1,006
2	6	105	49	462	19	397	1	4	75	968
3	8	168	69	751	21	450	3	7	101	1,376
合計	50	1,154	579	5,621	348	11,287	34	156	1,011	18,218

□の合計が必ず一緒になるように
各部屋の年間利用率を記入する欄を追加しましたので忘れずに記入してください。
年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。（小数点第2位を四捨五入）

令和7年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数（件）	利用人数（人）	年間利用率（%）
視聴覚室	47	1,547	1.3
調理実習室	51	2,044	1.5
相談室	116	976	3.3
作法室	86	342	2.5
集会室	16	46	0.5
作法室+集会室	2	47	0.1
レクホール	538	12,169	15.4
会議室	155	1,047	4.4
合　　計	1,011	18,218	

令和７年度　公民センター　事業報告

１．運営方針

（１）全体の運営方針

市民のコミュニティ活動や連帯意識を醸成する場として施設の機能等を有効に活用し、利用者に質の高いサービスの提供、工夫された各種講座の実施などを行うとともに、安全・安心かつ清潔で居心地の良い施設として効率的な管理運営に努めます。

①　施設及び設備については、利用者が安全に利用できることを第一とし、すべての施設を清潔に保ち、かつ機能を正常に維持し、適正な管理と保守点検を行い施設の効率的な利用を図ります。

②　公の施設であることを常に念頭におき、市民の平等な利用を確保する管理運営を行います。また、関係法令を遵守した維持管理に努めます。

③　事業計画書等に基づき、施設の効用を発揮させるよう創意工夫を行い、管理費等の縮減に努めます。

④　利用者に対しては、親切かつ丁寧な接遇等でのサービスの提供を行うとともに、常に利用者の意見を聴き、反映できるものは取り入れ、利用者の満足度を高めていきます。

⑤　市及び市内の複合施設と密接に連携を図り、サービスの向上に努めます。

⑥　持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）を念頭に置いた施設の維持管理及び事業の実施を心がけていきます。

（２）分野別方針

	運営目標
市民サービスの向上	①安全安心かつ清潔で快適な施設 ②明るく親切な運営 ③地元自治会・市民団体・事業所等の活動拠点化 ④情報の発信拠点化 ⑤まちづくり・コミュニティの拠点化
利用者ニーズの把握・対応	①ニーズ把握 　利用者アンケート・聞き取り、従業員ミーティングでの情報共有、利用チェックリストの活用、他の類似施設との情報交換 ②ニーズ対応 　事業計画・予算への反映、市及び関係機関への報告・協議等 ③相談・苦情等対応 　「相談・苦情対応マニュアル」の作成・運用、苦情等報告書の作成、市及び関係機関への報告・協議等

（３）令和７年度　重点に実施した項目（講座・事業など）

周辺地域や事業所との連携・交流を通じ、地域に根付くセンター運営を目指す

２．公民館　講座等実施報告

（１）学習講座事業（事業対象が複数に該当するものは主目的の対象に記載）

対象	学級・講座名	回数	参加人数
多世代交流	公民センターボッチャの日	9 回	延べ152 人
	まんぷく広場	4 回	120 人
健康づくり	介護にまつわる講座	1 回	1 人
	ヨガ体験	6 回	延べ180 人
趣味や生きがいづくり	そば打ち体験	1 回	8 人
	寄せ植え教室	1 回	10 人
ライフサポート	災害時に役立つパッククッキング講座	1 回	5 人
	女性のための就職支援講習会	1 回	3 人
	自分で前髪をカットしてみよう	1 回	8 人

（２）講座以外に行った事業

地域交流	ばらっぱ祭り（共催事業）	1 回	250 人
	夏祭り（共催事業）＊準備のみ(台風中止)	1 回	0 人
	夕方市場（共催事業）	1 回	100 人
	国際交流まつり（共催事業）	1 回	200 人
	ほっこりマーケット	1 回	250 人

（３）情報の提供

・公民センターで実施する事業の情報提供
（広報しろい・ホームページ・市公式LINE・公民センターだより
　市内公共施設にポスター掲示・チラシ配布）
・公民センターだよりを白井第二小学校、ひまわり保育園から各家庭に配布）
・公民センターだよりを近隣住宅及び工業団地各事業所に配布

（４）施設の提供

・利用者に平等・公平な施設の利用促進、貸館業務の充実
・地域のコミュニティの核となる場所の提供

3　事業の評価

（１）分野別方針

	評　価
市民サービスの向上	①消防設備のほか各機器類の保守及び日常清掃などの衛生管理により、安全性と衛生環境の保持ができた。 ②親切・丁寧な対応を心掛けたことで、円滑な業務ができた。 ③施設利用に柔軟な対応を行うことで、活動の場を提供することができた。 ④自治会・団体や事業所からの情報(ポスター・チラシ等)の掲示を行った。 ⑤主催・共催行事の実施で、地域の連携や地域と事業所との交流を図ることができた。
利用者ニーズの把握・対応	①アンケートや聞き取りなどで、希望や意向を把握することができた。 ②意向等の把握で得た情報は以後の事業や予算に反映することを検討し、必要に応じて市へ協議することができた。 ③相談・苦情の事案はなかった。

（２）令和7年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評 価
当センター周辺は住民同士の繋がりが比較的濃い地域であることから、イベントの開催には地域住民と周辺事業所との交流ができる事を考慮して実施した。 講座等を機会に、参加者が継続的にセンターを利用していただくために、サークル化について呼びかけを行い、二つのサークルが設立された。 児童ルームの拡充として、お絵かきコーナーの設置・図書の充実を図った。

事業活動

事業名	夏祭り　（白井第二小学校区みどりの里づくり協議会　共催事業）		
対　象	一般		
参加人数	人　※会場準備のみ、台風接近のため中止		

事業の課題と目標

課　題

・地域住民や周辺事業所の相互交流の希薄化

・地域の伝統行事の継承

目　標

・地域住民や周辺事業所の相互交流の活発化

・行事を継承する地域住民の育成、周辺事業所との連携

期　間	8月1日（金）17:00～21:00　※台風接近のため中止	回　数	1回
場　所	白井市白井第二小学校		

事業参加者への配慮等

・関係者や来場者用駐車場の確保、整備

・事故等の防止対策

事業の成果（課題や目標に対して）

・地域住民とともに周辺事業所も参加協力をいただき準備をしたが、台風接近により中止となった

・関係者や団体・参加事業所が一丸となり準備を行うことで、交流・連携・後継育成に寄与できた

備　考

・台風情報の注視により、中止判断が直前になった

・準備作業は、ほぼ完了しており準備手順の継承ができた

事業活動

事業名	夕方市場　（白井第二小学校区みどりの里づくり協議会　共催事業）		
対　象	一般		
参加人数	１００人		

事業の課題と目標

課　題

・地元野菜や料理等の普及

・地域住民や周辺事業所の相互交流の希薄化

目　標

・地元野菜や料理等の販売を通じ、地域住民や周辺事業所との相互交流を図る

期　間	9月２６日（金）16：00～19：00	回　数	1回
場　所	旧食堂		

事業参加者への配慮等

・関係者や来場者用駐車場の確保

・事故等の防止対策

事業の成果（課題や目標に対して）

・あらためて地元野菜や料理等の普及に寄与できた

・地域住民や周辺事業所従業員が来場し相互交流が図れた

備　考

事業活動

事業名	国際交流まつり　（白井国際交流協会　共催事業）		
対　象	一般		
参加人数	２００人		
事業の課題と目標 課　題 ・外国人と地域（住民・事業所）との交流 ・外国人への理解 目　標 ・周辺事業所に勤務又は住民の外国人と地域（住民・事業所）との交流 ・外国人との相互理解			
期　間	１１月２２日（土）　10：00～15：00	回　数	1回
場　所	全館		
事業参加者への配慮等 ・事故やケガなどに対する安全対策 ・日本文化と外国の文化などの紹介や体験			
事業の成果（課題や目標に対して） ・茶道や書道などを体験してもらい、日本文化の一部を知ってもらうことができた ・外国人歌手の歌やダンスを披露、地域住民に外国文化の一部を知ってもらうことができた ・お互いの交流を図ることができた			
備　考			

事業活動

事業名	ほっこりマーケット		
対　象	一般		
参加人数	２５０人		
事業の課題と目標 課　題 ・地域住民や周辺事業所の相互交流の希薄化 ・地域住民や周辺事業所の相互交流の希薄化 ・地元野菜や料理等の普及 目　標 ・市内住民のフリーマーケットをメインに地元野菜等の販売を通じ、地域住民や周辺事業所との相互交流を図る			
期　間	１２月１３日（土）10：00～13～00	回　数	1回
場　所	全館		
事業参加者への配慮等 ・関係者や来場者用駐車場の確保 ・事故等の防止対策			
事業の成果（課題や目標に対して） ・出店者と来場者、来場者同士の交流を深めた			
備　考			

事業活動

事業名	公民センター　ボッチャの日（全９回）		
対　象	市内在住・在勤一般		
参加人数	延べ１５２人（うち指導員13人、センター従業員１６人）		
事業の課題と目標 課　題 ・地域住民等の繋がりの希薄化 ・運動不足 目　標 ・多世代の地域交流 ・運動不足の解消 ・パラリンピック競技の理解			
期　間	７月～３月　第２土曜日	回　数	9回
場　所	レクリエーションホール		
事業参加者への配慮等 ・市スポーツ推進員からルール・テクニックを説明 ・ランダムなチーム分けによる多世代間交流 ・チーム戦で行うことによる競いの楽しさ ・身体的負担を考慮した進行			
事業の成果（課題や目標に対して） ・募集人数以上の申込があった。（各回20人募集、最大28人申込） ・参加者同士の会話が交流につながった。 ・パラスポーツの理解が深まった。 ・次年度も継続を希望する声があった。			
備　考			

事業活動

事業名	まんぷく広場　（全４回）		
対　象	市内在住・在勤一般		
参加人数	延べ１２０人		
事業の課題と目標 課　題 ・地域住民等の繋がりの希薄化 ・家庭料理や郷土料理の普及 目　標 ・「市民シェフ」と地域住民等との交流 ・「市民シェフ」の料理発表の場の提供			
期　間	１月～２月	回　数	4回
場　所	調理実習室、２階ラウンジ・廊下、相談室		
事業参加者への配慮等 《市民シェフ》 ・予定数の各30食が完売できるよう、広報・チラシの各種PRに力を入れた。 ・互いの交流手法として、シェフからの「メッセージカード」を作成した。			
事業の成果（課題や目標に対して） ・予定数を完売することができた。 ・作り手(シェフ)の顔の見えずらさを「メッセージカード」でカバーできた。			
備　考			

事業活動

事業名	介護にまつわる講座　ケアマネを深掘り		
対　象	市内在住・一般		
参加人数	１人		

事業の課題と目標

課　題

・介護制度、相談方法や手続きがよくわからない

・ケアマネジャーとは

・地域包括支援センターとは

目　標

・介護制度やその手続きの仕方、地域包括支援センターの利用方法を学ぶ

・ケアマネジャーの仕事内容を学ぶ

期　間	6月１6日（月）10：00～11：30	回　数	1回
場　所	視聴覚室		

事業参加者への配慮等

・社会福祉士から地域包括支援センターの仕事内容や相談内容を説明。

・ケアマネジャーから仕事内容を紹介。

事業の成果（課題や目標に対して）

・参加が少人数であったため、双方からの質疑応答が活発にできた。

備　考

事業活動

事業名	ヨガ体験		
対　象	市内在住・在勤		
参加人数	延べ180人		

事業の課題と目標

課　題

・運動不足、慢性的な体調不良や睡眠不足

目　標

・適度な運動を行い、体調の改善を図る。

期　間	3月５日(木)～２４日(火)　18:00～19:00	回　数	6回
場　所	レクリエーションホール		

事業参加者への配慮等

・ヨガの経験者・未経験者を問わず、初級者向けのヨガを実践。

事業の成果（課題や目標に対して）

・１回あたり２０人の募集に対し、平均３０人の応募・参加があった。

・初心者にもわかりやすい体験となり、継続定期に続けたいとの感想を得た。

・この体験講座をきっかけに、参加者同士でサークルが立ち上がり、当センターの定期的利用につながった。

備　考

事業活動

事業名	そば打ち体験		
対　象	一般		
参加人数	８人		
事業の課題と目標 課　題 ・そば打ちをしてみたいが、体験する機会がない。 ・そば打ちの技術を向上したい。 目　標 ・希望者への体験機会の提供 ・同趣味の人同士の交流			
期　間	１０月１６日（木）10:00～13:30	回　数	1回
場　所	調理実習室		
事業参加者への配慮等 ・初心者向けの指導 ・気軽に参加できるPR ・衛生環境の配慮			
事業の成果（課題や目標に対して） ・初心者が楽しく体験できた。 ・参加者同士が仲良く交流できた。 ・自身で打った蕎麦の試食をし、満足な出来であったようだ。			
備　考			

事業活動

事業名	寄せ植え教室		
対　象	一般		
参加人数	１０人		
事業の課題と目標 課　題 ・家庭での植物鑑賞を始めたい ・寄せ植えの仕方がわからない 目　標 ・生活に植物を取り込み豊かな暮らしに役立てる			
期　間	１１月２８日（金）10:00～12:00	回　数	1回
場　所	会議室・センター屋外スペース		
事業参加者への配慮等 ・持参品や鉢の大きさやをあらかじめ周知 ・土、花材、スコップはセンターで用意			
事業の成果（課題や目標に対して） ・講師から使用する花材に関係する雑学や手入れ方法などを聞けた。 ・参加者から家庭での植物に対する困りごとなどの質疑応答ができた。			
備　考			

事業活動

事業名	災害時に役立つパッククッキング		
対　象	一般		
参加人数	５人		
事業の課題と目標 課　題 ・災害時における調理法 目　標 ・ガスや水が限られている状況でも、少ない手間で安全に調理ができ、衛生的に食事ができる方法を学ぶ			
期　間	１０月２８日（火）　10：00～12：30	回　数	1回
場　所	調理実習室		
事業参加者への配慮等 ・調理の前に健康課職員と食生活改善推進員から防災や災害時の講話			
事業の成果（課題や目標に対して） ・日頃から災害時対策を考えなければと思っていた中で、手軽に簡単に調理ができた			
備　考			

事業活動

事業名	女性のための就職支援講習会		
対　象	市内在住・在勤・在学、市近隣に在住し市内への就職希望する女性		
参加人数	３人		
事業の課題と目標 課　題 ・初めて就職する方、離職者やブランクのある方々などの就職意欲と自信 目　標 ・履歴書の作成、面接での応答及び求人票の見方など基礎知識の習得			
期　間	3月１６日（月）13:30～15:30	回　数	1回
場　所	会議室		
事業参加者への配慮等 ・千葉県内を中心とした最近の求人・就職事情などの話 ・女性の立場にたった就職活動の基本的な事項を伝える			
事業の成果（課題や目標に対して） ・履歴書の書き方のポイントを学ぶことができた ・面接のマナー、質問対応、伝え方などを学ぶことができた ・求人票を見る方法を学ぶことができた			
備　考			

事業活動

事業名	自分で前髪をカットしてみよう		
対　象	市内在住　一般または小学生以上の親子		
参加人数	８人		
事業の課題と目標 課　題 ・美容院に行く時間がない、全体をカットするほどではない 目　標 ・自分の前髪、親が子どもの前髪をカットする			
期　間	３月２８日（土）10:30～12:00	回　数	1回
場　所	会議室		
事業参加者への配慮等 ・講師がカットモデル（マネキン）、首に巻く不織布、ケープを用意			
事業の成果（課題や目標に対して） ・講師が個別に説明や質問に対応しながら実施したことで、わかりやすく学べた			
備　考			

事業活動

事業名	ぱらっぱまつり　（白井第二小学校区地区社協　共催事業）		
対　象	一般		
参加人数	２５０人		
事業の課題と目標 課　題 ・郷土菓子「ぱらっぱまんじゅう」の継承 ・地域住民や周辺事業所の相互交流の希薄化 目　標 ・郷土菓子「ぱらっぱまんじゅう」を多くの人に知ってもらう ・地域住民や周辺事業所の相互交流の活発化			
期　間	７月５日（土）11:00～15:00	回　数	１回
場　所	全館		
事業参加者への配慮等 ・事故やケガなどに対する安全対策 ・食品の取り扱いに対する衛生対策			
事業の成果（課題や目標に対して） ・手作りの「ぱらっぱまんじゅう」を販売、多くの人が購入し郷土菓子の周知に寄与できた ・地元野菜や白井産の小麦で作ったケーキ販売で地産地消できた ・子ども向けのゲームや茶道体験、抽選会などで多くの参加者が賑わい交流を深めた			
備　考			